

和歌山縣報

第十九十七號

明治四十四年八月十二日

○告示

○和歌山縣告示第二百六十八號

縣會議員夏見康太郎ハ公私文書偽造行使横領詐欺取財被告事件ニ付本年五月三日和歌山地方裁判所公判ニ付セラレタルヲ以テ縣參事會ハ府縣制第三十七條ニ依リ八月十日左記ノ通決定セリ

明治四十四年八月十二日

和歌山縣知事 川上 親晴

○決定書

和歌山縣會議員

夏見康太郎

右ノ者公私文書偽造行使、横領、詐欺取財等被告事件ニ付明治四十四年五月三日和歌山地方裁判所ノ公判ニ付セラレタルヲ以テ和歌山縣知事ハ府縣制第三十七條第四項ニ依リ本會ノ決定ニ付レタルモノナリ仍テ之ヲ審査スルニ夏見康太郎カ公私文書偽造行使横領詐欺取財等被告事件ニ付公判ニ付セラレタルハ和歌山地方裁判所長ヨリノ通報ニヨリテ確實ナリ右被告事件ハ其ノ何レノ罪質ニ依ルモ刑法施行法第二十九條及第三十條ノ規定ニ依リ舊刑法ノ重罪又ハ輕罪ニ該當シ同法ノ規定上公權剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ犯罪タルコト明ナリ故ニ康太郎ハ町村制第九條第二項後段ニ所謂公權剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重罪又ハ輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルモノ

ト謂フナ得ヘク從テ同法第十二條第一項但書府縣制第六條第二項ニヨリ縣會議員ノ被選舉權ナ有セサルモノトス仍テ府縣制第三十七條第一項ニ依リ縣會議員夏見康太郎ハ其ノ職ヲ失ヒタルモノトス

○和歌山縣告示第二百六十九號

左記ノ種牡牛ハ其ノ使用ヲ廢止シタリ

明治四十四年八月十二日

和歌山縣知事 川上 親晴

證明書下付年月日	種類	年齡	毛色	高	サ	管	理者	住所	氏名
明治四十四年七月二十七日	ブラウンズヰ ス種	明治四十年一月九日生	黑色	四尺一寸		有田郡八幡村農會長	管理者	岡田道之助	
全	一回雜種	二年全	四尺二寸	五分					

○和歌山縣告示第二百七十號

畜牛結核病豫防法第一條第二條ニ依リ明治四十四年十月一日ヨリ日高郡内ニ於ケル畜牛ノ検査ヲ行フ

明治四十四年八月十二日

和歌山縣知事 川上 親晴

○和歌山縣告示第二百七十一號

北海道國有未開地ニシテ賣拂又ヘ貸付地ヲ設定シタル箇所左記ノ通ナル旨北海道廳長官ヨリ通知アリタ

明治四十四年八月十二日

和歌山縣知事 川上 親晴

○北海道廳告示第五百二十號

北海道國有未開地處分法第二條第四條第五條ニ依ル賣拂貸付スヘキ土地左ノ如シ但シ圖面ハ北
海道廳及所轄支廳ニ備置ク

明治四十四年七月十二日

北海道廳長官 石原 健三

賣拂又ハ貸付地

上川支廳管内(區畫地)

國 郡 町村 大字 區畫地名 概算地積 樹木有無

石狩

愛別

ルベシユベ

一九、六二四

雜樹林

○北海道廳告示第五百二十一號

明治四十一年七月北海道廳告示第四百五十三號特定地石狩國上川郡愛別原野四百六町三畝十六步
ノ内四町五段二畝步及同四十二年三月同告示第百二十八號特定地石狩國上川郡愛別村ルベシユベ
原野四百二十九町八段八畝十步ノ内十一町七段八畝二十二步ヲ北海道國有未開地處分法第二條
第四條第五條ニ依ル賣拂貸付地ニ變更ス

明治四十四年七月十二日

北海道廳長官 石原 健三

○北海道廳告示第五百三十二號

明治四十二年十月北海道廳告示第四百七十九號特定地十勝國廣尾郡茂寄村野塚原野十町步ヲ北海
道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依ル賣拂貸付地ニ變更ス

明治四十四年七月十五日

北海道廳長官 石原健三

明治四十四年七月十六日

北海道廳長官 石原健三

○北海道廳告示第五百三十五號

左記ノ箇所ハ官林ヲ解除シ北海道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依ル賣拂貸付地ニ
編入ス編入前賣拂出願ヲ爲シタル者ハ同法ニ依リ更ニ出願スヘシ但シ圖面ハ北海道廳及所轄支
廳ニ備置ク

明治四十四年七月十六日

賣拂又ハ貸付地

北海道廳長官 石原健三

増毛支廳管内(區畫外)

大字

地

名

概算地積

メカナン區畫地續

二一、〇〇〇

オヌアナイ區畫地續

一八、〇〇〇

字キムクシユウツナイ區畫地續

六五、五〇

遠別區畫地續甲

六、〇〇〇

同乙

一、八〇〇

丙

二〇、〇〇〇

ウツ區畫地續

四三、〇〇〇

サンク區畫地續

二三、五〇〇

苦前

苦前

○北海道廳告示第五百三十六號

左記ノ箇所ハ官林ヲ解除シ北海道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依ル賣拂貸付地ニ

編入ス編入前賣拂出願ヲ爲シタル者ハ同法ニ依リ更ニ出願スヘシ但シ圖面ハ北海道廳及所轄支廳ニ備置ク

明治四十四年七月十六日

北海道廳長官 石原健三

賣拂又ハ貸付地

函館支廳管内(區畫外)

國	郡	町村	大字	地名	概算地積
膽振	山越	長万部		ベンケドツタ	七、一四二七
同	同	同		ベタヌ	四七、八九一七
同	同	同		イヌフレウシナイ	一六、〇〇〇〇
同	同	八雲	山越内		三一、七五〇〇
後志支廳管内	虻田	俱知安			
同	同	俱知安區畫地續甲			
室蘭支廳管内	同	乙			
膽振	白老	敷生	クツタラウシ沼畔		
浦河支廳管内	沙流	平取二凡			
日高	沙流川沿方マウシナイ	間山手	二三、四三三		
○	クルマツオマナイ				
北海道廳告示第五百三十七號					
左記ノ箇所ハ官林ヲ解除シ北海道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依ル賣拂貸付地ニ					

総入ス総入前賣拂出願チ爲シタル者ハ同法ニ依リ更ニ出願スヘシ但シ圖面ハ北海道廳及所轄支廳ニ備置ク

明治四十四年七月十六日

賣拂又ハ貸付地

北海道廳長官 石原健三

河西支廳管内(區畫外)

國十勝

郡河西

大字

地

名

概算地積

四六三、八三〇

六〇八、三一〇

一〇五、八五二

二六四、五三二

一六、六九〇

三五六、六〇二

九四七、八三一〇

一四、三一〇

一、三一三、六三三

六八八、一八三

九五、七九五

國同

郡同

町村同

大字同

地

名

國同

郡同

町村同

大字同

地

名

明治四十三年一月本縣告示第五號畜產講習會規程ニ依リ左記ノ通り畜產講習會を開設ス

明治四十四年八月十二日

卷之三

開設期日及期間 明治四十四年八月十六日～全月
開設場所 日高郡上山路村東尋常高等小學校

○ 許令

○明治四十四年八月五日
寶島縣へ出向ヲ命ス

年俸百圓下賜

内務部勸業課勤務ヲ命ス

明治四十四年八月八日

有田郡畜牛品評會審查長ナ命文

○明治四十四年八月九日

給月俸貳拾參圓

警察部高等警察係勤務ヲ命ス

警部補勳八等

扶手

田邊

宇田鶴楠

粉河中學校教諭
林業技師

藤 藤 西
江 江 村
再 再 芳
吉 吉 麟

○町村吏員ノ異動

○明治四十四年八月九日認可

西牟婁江住村長

藤本紀陽

那賀郡東貴志村有給役助

中西馬之助

○業報

○轉任 長野縣技師從六位勳六等藤江再吉ハ本月五日本縣技師高等官五等九級俸ニ轉任セリ
○同 長野縣西筑摩郡林業技師藤江再吉ハ同日本縣林業技師ニ轉任セリ

○觀象

自八月四日至七月九日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	八月四日		八月五日		八月六日		八月七日		八月八日		八月九日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七四五五耗二	七四五九耗二	七五五耗五	七五二耗九	七五五耗一	七五七耗一	七五五耗七	七五七耗八	七五五耗七	七五七耗二	七五一耗六	七五一耗九
平均氣溫	二二七度八	二二四度〇	二二三度八	二二九度四	二二三度一	二二二度〇	二二一度九	二二六度五	二二二度八	二二五度一	二二五度七	二二五度九
最高氣溫	三三度五	三三度〇	三三度一	三三度四	三三度一	三三度〇	三三度二	三三度五	三三度一	三三度〇	三三度九	三三度七
最低氣溫	二二四度八	二二〇度八	二二〇度四	二二〇度四	二二〇度一	二二〇度〇	二二〇度一	二二〇度六	二二〇度一	二二〇度〇	二二〇度九	二二〇度八
平均風力	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四	五五耗四
最多風向	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西
天氣	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
降水量	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇	五米〇
記事現象	前夜來ノ降雨午前 十時分歇ミ前半 牛カルニ可リ再雨 全シ再雨午前 部午雨午前	夜間西方電光 後十時前半 牛カルニ可リ再雨 全シ再雨午前										
本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年

明治四十四年八月十一日印
明治四十四年八月十二日發
(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

印 刷 和歌山市北休賀町六番地
印 刷 所 和歌山市北休賀町六番地宗地
印 刷 所 和歌山市北休賀町六番地宗地

版

部 七